

あおい雲

長野県手をつなぐ育成会ニュース

2013年度第1号

平成25年9月30日発行

発行者 長野県手をつなぐ育成会

会長 中村 彰

380-0928 長野市若里7-1-7

長野県社会福祉総合センター5F

TEL 026-227-6811

FAX 026-227-6836

ikuseikai-nagano@cyber.ocn.ne.jp

長野県手をつなぐ育成会 50周年県大会



講演がありましたので紙面にてご紹介いたします。

田中正博氏 全日本手をつなぐ育成会常務理事

手をつなぐ育成会二〇一三年度事業計画の基本方針に則った今後の活動の意義と方向性を示す内容でした。二〇〇九年から始まった障害者制度改革は最終章の段階にあり県大会以前の国会で制定された障害者差別解消法は「共生社会」実現のために「漸進主義」の流れでたどり着いた改革であり、今後育成会としても共生社会の一翼を担う運動を力強く展開していくことや活動の歴史がそうであったように今後も益々当事者会としての発信力を発揮し、会員一人ひとりの活動への思いも強固なものにしていく必要性を提言されました。

又村あおい氏 「手をつなぐ」編集委員

まずは、お馴染みの「あおい」さんジョークで聴衆の心をつかみ、複雑な障害者総合支援法の自称通訳者として、分かりやすくお話ししてくださいました。が、

平成25年7月6日 飯田市鼎文化会館にて全県から約百五十人の参加者の中50回記念大会が盛大に行われました。長年の育成会や日ごろの障害者支援への活動を評した表彰式も和田恭良副知事始めとすご来賓の方々が見守る中厳粛に行われました。また基調講演においては記念大会の名にふさわしい左記のお三方の

やはりその法律の複雑さには舌を巻きそうに……。又村氏も「通訳」を必要とする福祉制度についてのはどうなのでしょうか？と疑問も投げかけていました。生活の道具としての法律を使いこなす一つのポイントは相談支援専門員をうまく活用するのが大切であり有意義な支援会議のもとサービス等利用計画を作成し実際の支援につなげる重要性を話されました。また、新法で必須事項となった事柄も紹介されました。「障がいのある人の理解を深める研修・啓発や地域の自主活動への支援、市民後見人の養成等」についてです。これは当事者団体も協働し推進することが可能になり、行政と育成会が文字通り手をつなぎ双方の連携のもとで住民参加のより現実的な研修・啓発活動を可能にしました。それを必須事項として法律が保障するというものです。これからも私たちの活動が共生社会への発信力となるよう活動に励んでいきましょう。

野沢和弘氏 毎日新聞社論説委員

障がい者の人権と言えはこの方の右に出る人がいないほど。全国を股にかけて取材力と正義感で数々の人権侵害を世に知らしめてこられた野沢氏のお話は何度聞いても心に染み入り人権感覚が研ぎ澄まされる思いがします。国連の障害者権利条約批准に向けた国内法整備の進捗状況から「障害者差別解消法」成立までのお話。まさに野沢氏の功績はこれらの動きへの世論を動かす社会の人権感覚を問うきっかけの一因となったわけですが、人権侵害事例は未だ後を絶たず人知れずどこかで起きています。特に印象深く聞いたのは大きな人権侵害引いては冤罪事例になり得る、刑事事件の容疑者になってしまった当事者への扱いに関しての取り組みです。今後の合理的配慮への動きや知的障がい児者への理解を深めるための、警察学校で行われた障がい者の母親による研修会の事例は大変参考になりました。私たちの活動を通じ人々の理解のなさでおきる人権侵害が無くなる日を期待します。

総会報告 平成25年5月11日 (土)

J A 長野県ビル12階12D大会議室 参加代議員49名うち委任状9名 (代議員総数59名)



中村会長のあいさつ

25年前全県をあげて1億円を集めて頂きました。本日はその1億円の使い方についても考えていただきたいと思います。3年前には任意団体の手をつなぐ育成会と事業団体の法人を分け活動してまいりました。やっと育成会も形を成した活動が出来るようになりました。障害者への施策が遅々として進まず、思いが形になっ
ていかないと感じる中で、県・国の制度を変えていく取組みをしていますのでどうか意見をあげてください。

議事1、2

平成24年度事業報告並び会計決算報告
並びに幹事監査報告

議事3

平成25年度 活動方針・活動計画

平成25年度 予算

① 幼少年期のテーマ

教育と療育に関すること

学ぶ場について

② 青壮年期のテーマ

就労と地域共生に関すること

③ 高齢期のテーマ

高齢化に伴う終の棲家に関すること

議事4

役員改選

代表的な質疑応答の報告です。

Q 財政基盤の強化について

現在の会費決定方式(人口×一円十三千円)では当会の予算の12〜13%の負担。会員数×円なら納得できるが、現行方式では理解が出来ない。

A 過去からの会費の算定式なのでご理解頂きたいが、以前から議論になっていて皆さんが疑問を持っていることは承知している。ただ各市町村の会費が一律ではなくばらばらの中、次年度予算を決めるまでに幾つかの具体案を、正副会長階の中で議論し郡市会の会長各位に示していきたい。

紙面の都合上簡略した内容報告しかできず申し訳ありません。

各市町村会で抱える問題もそれぞれながら年度の始めに代議員が一堂に会する機会は貴重です。市町村会育成会の役割も担う活動も地域色があつて互いの情報交換の場としても総会は有効です。今年度も活発な質疑応答の中で県育成会の果たすべき役割について考察する良い機会になりました。

南北に長い長野県ならではの地理的困難をもとめせず今日まで活動の灯をともし続けた先輩諸氏のご苦勞に感謝でもあります。



「長野県自立支援協議会」とは...



「自立支援協議会」これからますます大切なキーワードになります。
 これからもこのテーマで通信をお届けしていきます。
 皆様からのご意見質問なども受け付けますので
 事務局あてどしどしお問い合わせご意見をください。

皆さんはお住まいの地域に「自立支援協議会」という名の協議会があるのをご存知でしょうか？
 今や日本は、世界からも国の借金の多さと超高齢化社会の現状に対しどのような対策で乗り切るのか注目されていると聞きます。

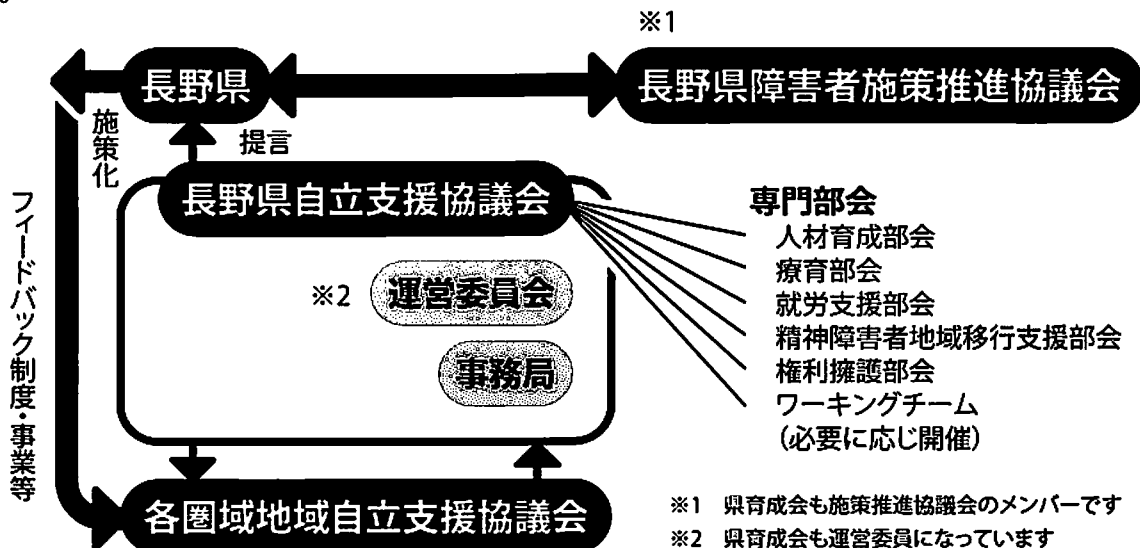
最近よく聞く、あるいは聞かされる言葉「地域で暮らす」「地域のことは地域で考える」「地域で生まれ地域で育ち地域で生きていく」正に「地域」づくしの地域の意味するところは。

自立支援協議会は、地域の中で障がい者ご本人が「尊厳のある豊かな人生を送っていくために何が必要か様々な面から考察し、情報交換する」機関です。特に地域力＝住民の人間力 地域力の向上＝福祉予算の削減 といった考え方で今後の税収減を乗り越えていこうという思惑もあるのです。

長野県でも障がいがあっても無くても地域で豊かに人生を送れるようにと「しあわせ信州創造プラン」を今年度から向こう5年間の計画をスタートさせました。これは、「障がいを理解し障がい者を応援する社会づくりや、障がい者が能力を発揮できる環境づくりを進めるとともに、障がい者の社会参加と雇用の推進に取り組む」ものです。

障害者自立支援法から開始された相談事業、今年から障害者総合支援法に名を変え法律の中身も少し変わりましたが、相談支援を基本にしたスタイルは変わっていません。県大会でも話題の中心にあったこの相談事業が円滑に働き「ご本人さん」をいかに支援していくか、長野県全体の福祉サービスの質的向上と係わる相談員の数と質の向上を図っていくこともこの協議会の大きな目的です。

ここで私たち「手をつなぐ育成会」は当事者会としての本領を「自立支援協議会」の中で発揮機能していく必要があるのです。知的障がい児者は自分の言葉で自分の思いを伝えることができません。親といえども子の全てを知り尽くしているわけではありません。本人を中心に親を含めた支援者が円陣を組み最適な支援を創出する、その制度をしっかりと担保していくためにも我々手をつなぐ育成会も地域や県の自立支援協議会の活動をまずはしっかりと理解していく必要があります。



※1 県育成会も施策推進協議会のメンバーです
 ※2 県育成会も運営委員になっています



コヒータイム

わたしたちの育成会



チャレンジ長野 総会開催報告



平成25年7月6日50周年記念大会同日、本人部会の「チャレンジ長野」の総会も開催されました。付き添いや施設職員も含め総勢80人余りの参加がありました。平成24年度活動報告や収支報告がなされ、今年度も昨年来の活動を継承し引き続き皆の親睦を図りながら、情報交換し互いの生活の質の向上に努めることを確認しあいました。質疑応答の中で「チャレンジ長野の研修会に参加するときの会費はもっと安くないか？」という質問がありました。現状では参加した際に出す「昼食代」を参加者負担としているが、県育成会とも相談して費用負担を軽くできないか検討すると

会長からの返答がありました。

総会の後はお馴染みの歌って踊ってのパフォーマンスに心地良い汗を流し、美味しく昼食を頂いた後はチャレンジ長野としては初めての試みの自然探勝会へ。ゆったりと草花など植物を眺めインストラクターの説明に聞き入る貴重な時間となりました。

ただ、チャレンジの総会や自然探勝会の運営主体者が徹底できず緩慢な会となってしまった事はとても残念でした。参加した皆様に混乱を招いたこと事務局としても深く反省しています。

編集後記

「暑い暑い」がつい口から出るそんな毎日も過ぎしのぎやすい今日この頃ですが今夏のヒット商品は「経口補水液」とか。まだまだ残暑も気になるころですがこの後記をご覧ください。あなた様もくれぐれもお気をつけ願います。総会・県大会も無事終了しました。大会のスタッフに当たってくださった皆様方ありがとうございました。

お知らせ その1

第62回全国大会大分大会参加者募集
平成25年11月9日(土)～10日(日)
参加ご希望の方は 県育成会事務局まで
参加費用おおよそ50,000円

お知らせ その2

長野県育成会結成50周年を記念した記念誌は皆様のお手元に届きましたでしょうか？県下各地から何度も編集委員会に足を運んでくださいました編集委員の皆様方への感謝の思いをこの紙面を借りまして御礼申し上げます。